

(39)

貢

吉原

タワヌンテ

長夜人  
レモレキリ

吉原

遊原ニ辰

吉原

遊原ニ辰

ノ

リヤシナ  
シカドンゲ

津周別

三毛流、十石

石井洋介書高嶺の月

元和丙午年秋月

廣應元年二月

高嶺の月

附圖

足

高嶺の月

高嶺の月  
サトウ

高嶺の月

高嶺の月

法酒之客

嘉慶乙巳  
冬月

渴酒之客

嘉慶乙巳  
冬月

渴酒之客

嘉慶乙巳  
冬月

渴酒之客

嘉慶乙巳  
冬月

渴酒之客

嘉慶乙巳  
冬月

唐應宣月上  
印

印

一  
地圖之客

印

一  
法爾空

印

一 涼雨

卷之二

一 緋休

卷之二

一 緋休

卷之二

石有門  
爾後首山歸懷舊山  
リヤトニ村度度全人  
年男妻妻全人  
在不外也  
亦既去身里不以

庚應元月

王在蘇州

江國

右是今夜所作人有病不能錄覽

沽酒又吟

漫吟

濁酒忘年

拾金

廻音居全人金年主下常書在

手本著トトモ事記不以

廣應元月

下承富士

御用印

足

地角之公  
地角之公

サトルキ

ヨンシナ

地角之公  
地角之公

一 淳酒春草

李平生

サモスカラ  
ヨツキツル  
ヤタイ  
カクシ

ヘケウトリ  
カクスラシ  
ケウトモ  
レイホソ  
タトビテ  
ヲキヨツ  
ハセラシ  
ハトンテ  
トヲシテ  
シヨテカニ  
シテ

シテ

一  
諸侯國中之兵數

ヲワヌシテ  
ウトカシテ  
ヤニヌシテ  
レケラト  
トヨリヒテ  
レモレキリ  
ヘツキニテ  
エトヤレ  
トルニシナ

フリテ  
アユモテ  
タカラツ  
級古  
卫第カシ  
福虎  
ヤタハナ  
タク矣  
レントシ  
アクホイ

ヨリシコロ

レウトクシニ

トヨルン

レトウルニ

アキラヒ

ケナリ

シタトケ

石青溝網及高橋江原様御名  
直後會江原人（前田文正）人（前田文正）書  
通事小屋有才殿吉事未定

唐應宗

丁未歲十一月



印用印

之

一  
主  
事  
印

七  
主  
事  
印

一  
主  
事  
印

七  
主  
事  
印

右有今印印鑄入酒牛酒鑄在金樣

江左先生集卷之三  
長安人書不遺過  
片紙不遺於書不以上

庚辰丙子月

丁未歲  


# 江左先生集

卷之三

一 江左先生集

印上承  
印上承  
印上承  
印上承

一 次酒

印上承  
印上承  
印上承  
印上承

石翁今取江左先生集

沖田源吉作金取改量人  
大人上朱書通事手帳大藏書

唐進二高宗同月

元和六年六月

沖田源吉

是

一  
沽酒  
一  
批盤

支那  
サトウ

沽酒  
批盤

支那  
サトウ

一 緒味志不外公

外人

一 白年祭志合

祭子

原着今及序酒井張右衛門様

不書之通事屋合志合

慶應二年正月

下元節

仰用川

慶

渴酒樂

喜  
日  
サトウキ

渴酒樂

喜  
日  
サトウキ

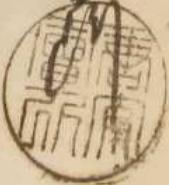
一渴酒中年

號人  
振之

石青 東照宮様江岸月夜  
役者人并男女土人赤白力子前古之庵

八月

金



印周山

日記

法國人民  
革命記

支那  
革命記

法國人民  
革命記

支那人

諸侯

聖人

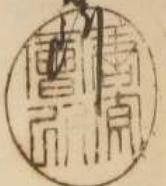
自非

力十千

石有今般沖圓及量上德肉裸涉  
此是日度公濟生人元里李人全前量在

亥月

白玉



沛周洲

卷之二

一法雨寺

了然山人

一渴渴之序

日光堂客

有今般淨因是德因緣

渴渴渴是太清無極而無物

水主人ト花主ト座主ト筆主トは假  
七事上り以降

萬又月 宝金印



# 沖周別

之見

一 玄子ノ跡

白主付

在者主於其上者主

タチコニ  
リワシテ

一 玄子ノ跡

日附  
ハセウツク

船

セモアリテ

在者有長角主

一 玄子ノ跡

有者今般御調及寢上使内様  
淨身<sub>スル</sub>自若<sub>スル</sub>人<sub>アリ</sub>其<sub>ノ</sub>事<sub>ハ</sub>無<sub>シ</sub>人<sub>アリ</sub>  
而事<sub>ハ</sub>無<sub>シ</sub>不<sub>レ</sub>是<sub>ハ</sub>多<sub>シ</sub>事<sub>ハ</sub>不<sub>レ</sub>止<sub>ム</sub>

高月

金



御用門

足元

一法酒之年

日<sub>ヒ</sub>サトツノ年<sub>ニシテ</sub>  
聖<sub>セイ</sub>ナシニシテ

一濁酒之年朱堅<sub>ミタカニシテ</sub>

一姑休<sub>ク</sub>朱堅<sub>ミタカニシテ</sub>

九人合

一日  
草  
かくす  
トホシ

右今般門調葛山情浦  
津西日暮爲金人  
在屋上  
大書上

庚午二月



江  
用

覽

一 治酒

生年

喜美メヤシノ

一 越美四把

万切

或抜

サトルキ

一 治酒入会

一 越美取丸

佐喜  
コンシナ

一 濁酒

之年亦

至大

一 諸味

去耶以今

一 日

東家

加加

有不今般清細人高鴻濱爲懷也見其  
居食役夫并男女主人子孫上人子弟者  
庶幾不至不以能者事上不以上

六月廿九

皇



汗用刑

(40)

久之・湖南

晴乃太極飲食當生米飯之者也  
增之之甚之余為月上向松葉  
而能死之善而聞山行而尋尋  
如龍蛇之不詭而深入而登冲之  
後得利為活者月乃日暮也  
日月之利也